

年頭にあたって

小平町長 関 次 雄

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成30年の輝かしい新春を町民の
皆様とともに迎えることができまし
たことを心からお喜び申しあげます
とともに、日頃より町行政の推進に
あたり、深いご理解とご協力を頂い
ておりますことに厚くお礼を申し上
げます。

本年もどうぞ、よろしく願いい
たします。

さて、昨年、当町におきましては、
基幹産業である農業・漁業が堅調に
推移し、農業にあつては、主要作物
である水稲が開花時期の高温に恵
まれ平年を上回る豊作となり、肉牛
部門や野菜・花卉といった作物も好
調であつたことから、当初の目標販
売額を大きく上回る実績となりまし
た。また、昨年11月に開催された道
産ブランド米「ゆめびりかコンテス
ト2017」において、留萌管内産
米が最高金賞を受賞するという大変
喜ばしいニュースもございました。

他方、漁業におきましては、各地
で秋サケ漁の不漁が叫ばれる中にあ
りながらも、本町においては順調な
操業を行えたことに加え、ホタテ成

貝輸出単価の高騰や他の魚種の好調
も相乗し、大幅な漁獲高増となり、
農業・漁業を合わせた生産販売額は
これまで例のないほどの成果を上
げられたところであります。

本町における1次産業の活性化
は、新たな産業や雇用の創出につな
がる原動力となるものであり、今後
も1次産業を主体とした果敢な施策
の展開が人口減少時代を生き抜く成
長戦略として極めて重要であると改
めて感じたところでもあります。

本年は、私にとりまして2期目の
最終年を迎え、就任以来7年の歳月
を経過してもなお町民皆様の期待と
その職責の重大さに身の引き締まる
思いでございますが、まもなく始ま
る新年度予算編成においては、私の
当初からの基本理念であります「町
づくりの主役は町民であり、町民の
目線に立って自ら出向き、自らが見
て聞く、現場主義」を徹底し、これ
まで培った基盤をさらに発展させる
よう努めてまいります。

平成30年は、本町観光振興の拠点
であります道の駅の駐車場拡張工事
を行い、集客力と利便性を高め、各
種観光振興施策と併せ、道内外の観

光客はもとよりインバウンドの加速
化を図ってまいります。

また、多方面にわたる子育て支援
施策を引き続き推進するとともに、
年次計画的な公営住宅の改善・橋梁
長寿命化工事といったインフラ整備
のほか、新たな取り組みとして移住
体験制度を創設し、「おびら」の魅
力を広く発信した中で移住・定住を
促進するなど、活気にあふれ、そし
て誰もが安心して住み続けられるま
ちの創生に全力で取り組んでまいり
ます。

結びに、町民皆様の町政へのなお
一層のご理解とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げますとともに、町
民皆様にとりまして、本年も平穩で
明るく、希望に満ちた幸多き年であ
りますことを心から祈念申し上げます。
新年のごあいさつといたします。

